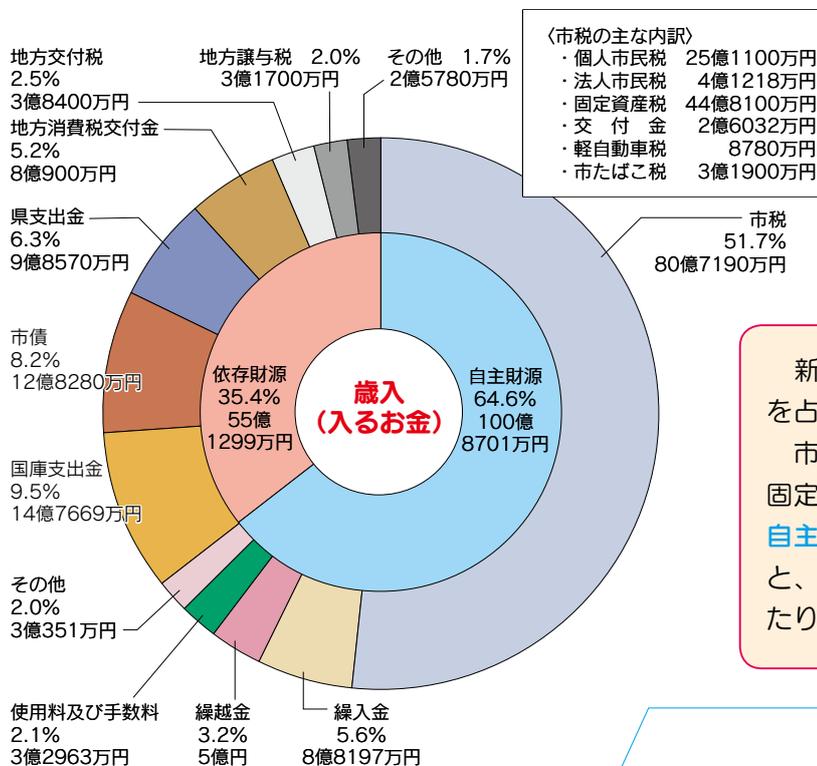


過去最大の大型予算!

一般会計 156 億円
 特別会計 103 億円
 合計 259 億円

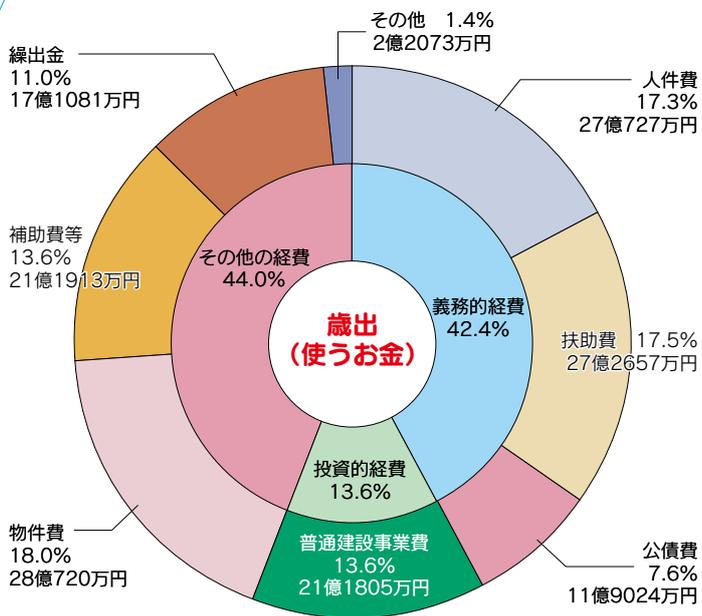


自主財源 100 億 8701 万円
依存財源 55 億 1299 万円

新年度の自主財源は歳入総額の64.6%を占めている。
 市の歳入には、個人市民税・法人市民税・固定資産税・たばこ税の市税や繰入金などの**自主財源**（この割合が高いほど財政が安定）と、国・県などから定められた額が交付されたり、割り当てられる収入の**依存財源**がある。

義務的経費 66 億 2408 万円
投資的経費 21 億 1805 万円

歳出を性質別経費に応じて分類すると人件費、扶助費、公債費など定期的に歳出が義務づけられ、任意に削減することができない**義務的経費**（この割合が小さいほど財政にゆとりがある）と、普通建設事業費や災害復旧事業費などの**投資的経費**がある。



29年度の当初予算は一般会計156億円、6つの特別会計合わせて103億3743万円、一般会計・特別会計の総額は259億3743万円、前年度比5.7%増となった。
 歳入においては、個人市民税、法人市民税、固定資産税が前年度比約2.5%の増、金額にして市税総額80億7190万円を見込んでいる。普通交付税は、合併代替の段階的な縮減と市税の増加などにより、29年度は、前年度に比べ1億6800万円の減となっている。
 歳出においては、新庁舎建設の予算が継続費として計上され、29年度において約10億円が計上されている。財源については、合併推進債を活用し、9億1280万円の市債を発行する。
 また、歳出に見合う財源を確保するため、財政調整基金から5億8890万円を繰り入れている。